



「 “お兄ちゃん” になりました 」

弟が生まれて10カ月が経ちました。

一緒に遊んでいる様でも、頑張って作ったブロックを壊されると「たっくん、もうせんでー」と半ベソをかきます。弟が泣いていると変顔をしたり、おもちゃを持たせたり、連れてきてと言うと「よいしょ」と抱っこして連れてきてくれる頼もしいお兄ちゃんです。

「ねんねさせてー」と言う「海ちゃんはおっぱいが小さいから無理だなあー」と。(笑)
弟の成長で泣かされる事も増えるだろうなあ。

(こすもす組のかいと君のお母様より)

気は優しく力持ちのかいと君ですね。弟のたっ君の遊び相手になり、お兄ちゃんらしくお母さんのお手伝いもしていますが、さすがにお母さんと同じようにはいかないこともありますね。微笑ましいです。お母さんの温かい見守りの中で兄弟揃って伸び伸びと大きくなることと思います。

(保育士より)

「 テレビでもらい泣き 」

先日、テレビ番組“はじめてのおつかい”を見ているときのこと…。いつになく真剣に見始めたセナ。ラストの感動シーンで出演者が泣いているのにつられて、セナも泣き出してしまいました。感情の豊かさに驚き、愛おしくなりました。

妹ができ、最近ではすっかりお姉さんですが、いつまでも、姉妹仲良くいてほしいと願うばかりです。

(ちゅーりっぷ組のせなちゃんのお母様より)

保育園でもクラスのお友だちが泣いていると、心配して声をかけるせなちゃんです。周りの様子や人の気持ちなどを敏感に感じ、共感したり、考えたことを表現できるようになってきて成長を感じます。お母さんの願いに答えて、優しく、頼れるお姉さんになるでしょうね。

(保育士より)

「 節分 」

真弥には初めての保育園の節分でした。家でも保育園で習った「鬼のパンツ」や「豆まき」を楽しそうに歌いながら踊っています。節分が終わっても「おにー」と言って、鬼が出てくる桃太郎のDVDや、画像を見ながら、楽しんでいます。

家の洗面所にパパと一緒に隠れ、「鬼が来るよ」と言う嬉しそうな顔をし、鬼のお面をつけたママが登場すると、「キャー」言って喜んでいます。

そんな真弥を見て、パパもママも笑顔になります。

(すみれ組のまさや君のお母様より)

お父さん、お母さんと一緒に節分の“鬼さん”も加わって、まさや君には笑顔いっぱいの楽しい節分になりましたね。温かなご家庭の様子が感じられます。まさや君、次はステップアップして元気な春をお家へ呼び込むことでしょう。楽しみです。

(保育士より)